

●一般事項

すでに「サポートID番号」を取得している場合、サポートID番号をお知らせください。サポートID番号をお知らせいただいた場合には、ご連絡先などの詳細は省略していただけません。

- サポートの依頼日
- お客様の会社名、ご担当者名
- ご連絡先
- ご購入先

●製品について

製品名(GS908E V2)、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)などのハードウェア情報をお知らせください。

製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。



図9 シリアル番号シール(例)

●設定やLEDの点灯状態について

- LEDの点灯状態をお知らせください。

●お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)お知らせください。

●ネットワーク構成図について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をお送りください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

14 ご注意

本書に関する著作権などの知的財産権は、アライドテレシス株式会社(弊社)の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。弊社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2009 アライドテレシスホールディングス株式会社

15 商標について

CentreCOMは、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

16 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

17 廃棄方法について

本製品を廃棄する場合は、法令・条例などに従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただけますようお願いいたします。

18 輸出管理と国外使用について

お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しままたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外國政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うこといたします。

弊社販売製品は日本国内仕様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

19 マニュアルバージョン

2009年11月 Rev.A 初版

613-001279 Rev.A 091130

ギガビットイーサネット・スイッチ

CentreCOM® GS908E V2 ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM GS908E V2をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品は、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tポートを8ポート装備したギガビットイーサネット・スイッチです。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、お読みになった後も大切に保管してください。

本製品のご使用にあたって

本製品は、医療・原子力・航空・海運・軍事・宇宙産業など人命に関わる場合や高度な安全性・信頼性を必要とするシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用を意図した設計および製造はされておりません。
したがって、これらのシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで本製品が使用されることによって、お客様もしくは第三者に損害が生じても、かかる損害が直接的または間接的または付隨的なものであるかどうかにかかわりなく、弊社は一切の責任を負いません。
お客様の責任において、このようなシステムや機器としての使用またはこれらに組み込んで使用する場合には、使用環境・条件等に充分配慮し、システムの冗長化などによる故障対策や、誤動作防止対策・火災延焼対策などの安全性・信頼性の向上対策を施すなど万全を期されるようご注意願います。

1 特長

- ポートの通信状況が一目でわかるLEDを装備
- オートネゴシエーション機能をサポート
- MDI/MDI-X自動切替機能をサポート
- フローコントロール機能をサポート
Half Duplex 時: バックプレッシャー
Full Duplex 時: IEEE 802.3x PAUSE
- 9720ByteのJumboフレーム対応(1000Mbps)
- 最大4KのMACアドレスを登録可能
- ファンレス設計
- 省エネ機能

オプション(別売)

- 壁設置用ブラケットAT-BRKT-J23により、壁面への設置が可能
- マグネットKitMにより、スチール製壁面への設置が可能
- ラックマウントキットAT-RKMT-J08により、19インチラックマウントへの設置が可能

製品の最新情報について

本製品リリース後の最新情報を弊社のホームページにてお知らせします。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

2 梱包内容

- 最初に、梱包箱の中に次のものが入っていることを確認してください。
- CentreCOM GS908E V2本体(1台)
 - ACアダプター(1個)
 - DC電源ケーブル固定バンド(1個)
 - ユーザーマニュアル(本書)
 - 製品保証書(1枚)
 - 製品仕様書(英文)(1枚)
 - シリアル番号シール(2枚)

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望れます。再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管してください。

安全のために

必ずお守りください

付属の電源アダプター以外使用しない

火災や感電の原因になります。
必ず、付属のACアダプターを使用してください。



警告

下記の注意事項を守らないと
火災・感電により、死亡や大
けがの原因となります。



分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載の
ない分解や改造はしないでくだ
さい。火災や感電、けがの原
因となります。



分解禁止

コンセントや記録器具の定格を超える 使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱によ
る火災の原因となります。



たこ足禁止

たこ足配線などで定格を超えると発熱によ
る火災の原因となります。



設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを抜く

感電の原因となります。



ケーブル類を傷つけない

特に電源ケーブルは火災や感電の原因となります。
ケーブル類やプラグの取扱上の注意

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・ケーブル類をコンセントなどから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



適切な部品で正しく設置する

取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて
正しく設置してください。指定以外の設置部品
の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因と
なります。



正しく設置

適切な部品で正しく設置する

取扱説明書に従い、適切な設置部品を用いて

正しく設置してください。指定以外の設置部品

の使用や不適切な設置は、火災や感電の原因と

なります。

・直射日光のある場所

・暖房器具の近くなどの高温になる場所

・激しい温度変化のある場所(結露するような場所)

・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所

(仕様に定められた環境条件でご使用ください)

・振動の激しい場所

・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所

(静電気障害の原因になります)

・腐食性ガスの発生する場所

・直射日光のある場所

・暖房器具の近くなどの高温になる場所

・激しい温度変化のある場所(結露するような場所)

・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所

(仕様に定められた環境条件でご使用ください)

・振動の激しい場所

・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所

(静電気障害の原因になります)

・腐食性ガスの発生する場所

・直射日光のある場所

・暖房器具の近くなどの高温になる場所

・激しい温度変化のある場所(結露するような場所)

・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所

(仕様に定められた環境条件でご使用ください)

・振動の激しい場所

・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所

(静電気障害の原因になります)

・腐食性ガスの発生する場所

・直射日光のある場所

・暖房器具の近くなどの高温になる場所

・激しい温度変化のある場所(結露するような場所)

・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所

(仕様に定められた環境条件でご使用ください)

・振動の激しい場所

・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所

(静電気障害の原因になります)

・腐食性ガスの発生する場所

・直射日光のある場所

・暖房器具の近くなどの高温になる場所

・激しい温度変化のある場所(結露するような場所)

・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所

(仕様に定められた環境条件でご使用ください)

・振動の激しい場所

・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所

(静電気障害の原因になります)

・腐食性ガスの発生する場所

・直射日光のある場所

・暖房器具の近くなどの高温になる場所

・激しい温度変化のある場所(結露するような場所)

・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所

3 アイコンの説明

アイコン	意味	説明
	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

4 各部の名称と機能

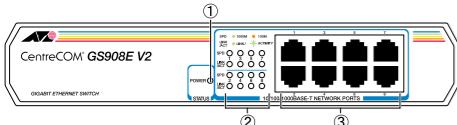


図1 外観図（前面）

① POWER LED（緑）
本体に電源が正常に供給されているときに点灯します。

② ポート LED

SPD LED（緑／橙）

ポートのスピードを表示します。100Mbpsで動作しているときに緑で点灯し、10Mbpsで動作しているときに橙で点灯します。10Mbpsで動作しているとき、またはポートと接続先の機器がリンクしていないときに消灯します。

LINK/ACT LED（緑）

ポートと接続先の機器がリンクしたときに点灯します。また、ポートがパケットを送受信しているときに点滅します。

③ 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tポート
10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-TのUTPケーブルを接続するためのコネクターです。接続先の種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、ストレート／クロスどちらのケーブルでも使用できます。また、これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、最適な通信速度と通信モードを自動設定します。

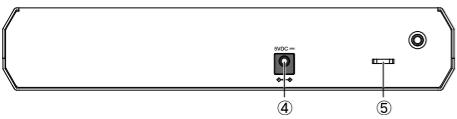


図2 外観図（背面）

④ DC ジャック
本体に DC プラグを接続するためのコネクターです。

⑤ フック

DC 電源ケーブル固定バンド用のフックです。

5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず「安全のために」をよくお読みください。

設置方法

本製品は、次の方法による設置ができます。

○ ゴム足による水平方向の設置

オプション（別売）を利用するこことにより、次の方法による設置ができます。

○ ラックマウントキット（AT-RKMT-J08）による19インチラックへの設置

○ 壁設置プラケット（AT-BRKT-J23）による壁面への設置

○ マグネットKit Mによるスチール製壁面への設置



- 弊社指定品以外の設置金具を使用した設置を行わないでください。また、本書に記載されていない方法による設置を行わないでください。不適切な方法による設置は、正常な放熱ができなくなり、火災、故障の原因となります。
- 水平方向以外に設置した場合、「取り付け可能な方向」であっても、水平方向に設置した場合に比べてこぎたまりやすくなる可能性があります。定期的に製品の状態を確認し、異常がある場合には直ちに使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。
- 本製品は必ず下図の〇の方向に設置してください。

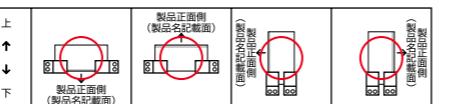


図4 壁設置プラケットを使用する場合の設置方向



● 設置するときの注意

本製品を設置する場所を確認してください。設置場所については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力がかかるような設置はさけてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- 底部を上にして設置しないでください。
- 充分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
- 本体の上にものを置かないでください。
- 直射日光のある場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- コネクターの端子にはさわらないでください（静電気を帯びた手（体）でコネクターの端子に触ると、静電気の放電により故障の原因となります）。
- 本製品は必ず下図の〇の方向に設置してください。



図5 マグネットキットを使用する場合の設置方向



● 平らなところに設置する

本製品は、ゴム足を取り付けた状態で出荷されますので、そのままデスクの上などの平らなところに設置して使用できます。

オプション（別売）を利用した設置

● 19インチラックへの設置

本製品を19インチラックに取り付ける場合には、オプションの19インチラックマウントキットAT-RKMT-J08をご使用ください。

・ラックマウントキットの使用方法は、AT-RKMT-J08の取扱説明書をご参照ください。

・本製品は必ず下図の〇の方向に設置してください。



図3 19インチラックマウントキットを使用する場合の設置方向



- 必ず〇の方向に設置してください。それ以外の方向に設置すると、正常な放熱ができなくなり、火災や故障の原因となります。

・本製品をオプションの19インチラックに取り付ける際は、適切なネジで確実に固定してください。固定が不充分な場合、落下などにより重大な事故が発生するおそれがあります。

● UTPケーブルのカテゴリ

10BASE-Tの場合はカテゴリ3以上、100BASE-TXの場合はカテゴリ5以上、1000BASE-Tの場合は、エンハンド・カテゴリ5以上のUTPケーブルを使用します。

● UTPケーブルのタイプ

本製品はMDI/MDI-X自動切替機能をサポートしていますので、接続先の種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、どちらのケーブルタイプ(ストレート／クロス)でも使用できます。

● 壁面への設置

本製品とネットワーク機器を接続する長さは100m以内にしてください。

電源ケーブルの接続（本製品の起動）

本製品は、ACアダプターを電源コンセントに接続することで電源が入ります。

本製品を使用する場合には、必ず製品に同梱されているACアダプターや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

本製品には電源スイッチがありません。ACプラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

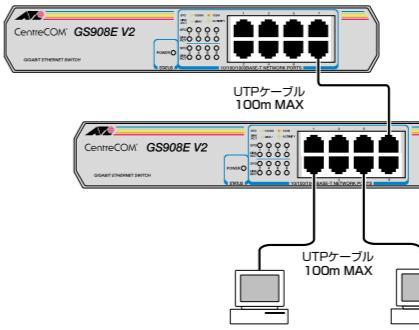


図8 カスケード接続例

8 設定

通信速度／通信モードの設定

本製品と接続先機器の通信モードは、次の表の〇印の組み合わせになるように設定してください。

IEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器のポートの通信モードをHalf Duplexに設定してください。

接続先ポート	GS908E V2
Auto	Auto
10M/100M	Half
Full	—
1000M	Auto



図6 ACアダプター

DCプラグを本体のDCジャックに接続し、ACプラグ側を電源コンセントに差し込みます。

このとき、本体前面のPOWER LED（緑）が点灯することを確認してください。

UTPケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立されると、接続したポートのLINK/ACT LED（緑）が点灯します。

● 電源ケーブルの固定

DCプラグが本体から抜けないように、同梱のDC電源ケーブル固定バンドで固定します。

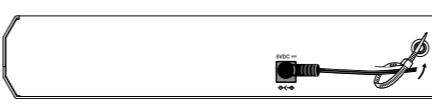


図7 ACアダプターの固定

9 ランプルショーティング

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● POWER LEDは点灯していますか？

POWER LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がなく正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

● 機器を停止後、すぐに起動していませんか？

本製品を停止するには、電源コンセント側のACプラグを抜いてください。

電源を抜くときには、本体側の接続を先に抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

本製品を停止してから再度起動する場合は、しばらく間をあけてください。



● LINK/ACT LEDは点灯していますか？

LINK/ACT LEDは接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

接続先機器に電源が入っていることを確認してください。接続先機器が障害がなく通信可能な状態にあることを確認してください。

正しいUTPケーブルが断線なく正しく接続されていることを確認してください。

UTPケーブルに問題がないか確認してください。ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため（結線は良いが特性が悪い場合など）、他のケーブルに交換して試してみてください。

ケーブルの長さが制限を超えていないことを確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを構成するUTPケーブルは最長100mと規定されています。

ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。特定のポートが故障している可能性もあります。

接続先機器の通信モードを確認してください。本製品のポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。

IEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品のポートを接続する場合は、接続先機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

10 製品仕様

準規格

IEEE 802.3	10BASE-T
IEEE 802.3u	100BASE-TX
IEEE 802.3ab	1000BASE-T
IEEE 802.3x	Flow Control

適合規格

安全規格	UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1
EMI 規格	VCCI クラスB

電源部

定格入力電圧	AC100 - 240V
入力電圧範囲	AC 90 - 264V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	0.2A
最大入力電流 (実測値)	0.12A
平均消費電力	5.6W (最大 8.5W)
平均発熱量	20kJ/h (最大 30kJ/h)